

2019-2020 秋・冬

ミ ュ ー ズ

# Muse

くまもと

## contents

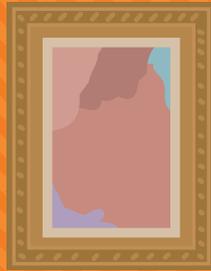
【見どころ紹介】 熊本市現代美術館・熊本県立装飾古墳館  
天草市立本渡歴史民俗資料館

【コレクション紹介】 神風連資料館

【博物館のお仕事】 熊本県立美術館

【博物館紹介】 つなぎ美術館・北里柴三郎記念館

【展示イベントのご案内】



触  
れ  
た  
い  
!

見  
た  
い  
!



学  
び  
た  
い  
!



# 見どころ 紹介

2 MAP C-2

## 熊本市現代美術館

会期／2019年9月21日(土)～  
11月24日(日)

東京国立近代美術館所蔵品展 きっかけは「彫刻」。—近代から現代までの日本の彫刻と立体造形  
CAMKコレクション展vol.6 きっかけは「彫刻」。—現代日本の彫刻と立体造形 **同時開催**

あの「名作」が熊本に大集結。熊本県下では初！近代日本彫刻をテーマにした大規模な展覧会です。

この度、熊本市現代美術館では、東京国立近代美術館の所蔵品展として「近代から現代までの日本の彫刻と立体造形」を、同時に当館の所蔵品の中から「現代日本の彫刻と立体造形」を一堂に会した「きっかけは『彫刻』」展を開催します。



教科書で見たことのある作品も、想像していたよりも、大きかったり小さかったり。つるつるだったり、でこぼこしていたり。質感や色、大きさなど、実際によく観ると新たな発見があるかもしれません。

会期中には関連イベントも多数開催します。「みて」・「きいて」・「さわって」・「つくって」、五感を全て使って新たな発見をしてください。

「彫刻」という日本語の誕生をきっかけに変化し、分岐してきた彫刻と立体。日本と熊本のお

高村光太郎《手》1918年頃  
東京国立近代美術館蔵 撮影：大谷一郎

宝を作った作家達と同じ時代を暮らす私達、きっと共感できるポイントがあることでしょう。



ひびのこぶえ《白いフェルトの服(穴、三日月、トゲ、アコーディオン、うろこ)》1991年  
《動物の頭(くま、さる、さい、ぞう、うま)》2009年  
熊本市現代美術館蔵

平衛田中《鏡獅子試作頭》1938年  
東京国立近代美術館蔵

20 MAP C-1

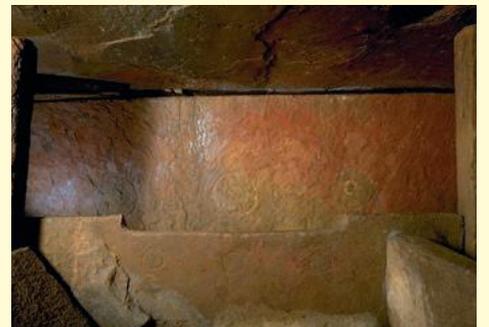
## 熊本県立装飾古墳館

会期／2019年11月6日(水)～12月15日(日)

### 令和元年度企画展Ⅲ「八代海周辺の装飾古墳」

熊本県南部、八代海周辺は熊本で最も早く装飾古墳がつくられた地域です。島々の古墳にみられる箱式石棺や、他地域に先駆けて出現した横穴式石室の壁際に立て並べられた「石障」と呼ばれる板状に整えられた石材がキャンパスとなり、直弧文や、武器・武具、銅鏡などが線刻や浮彫で描かれました。丸い銅鏡の表現は円文や同心円文といったシンプルな記号となり、石室の中に規則的に配置されます。やがてその分布を広げる中で、石に刻まれた文様を色で塗り分けるものが現れ、6世紀に北部九州の各地に展開する彩色壁画による装飾古墳の出現につ

ながっていきます。この展示では、八代海周辺の装飾古墳の出現と展開の過程を写真パネルや出土品でたどり、装飾古墳をはぐくんだこの地域が果たした役割を探ります。



たのかわち 八代市 田川内1号古墳石室内部



棚底城跡写真

天草市初の国指定史跡棚底城跡の指定から10周年。また、天草五人衆の終焉につながった天正天草合戦から430周年を記念して特別展を開催し、天草の戦国時代を紹介します。

主な展示内容は、棚底城跡関連で、「棚底城跡縄張り図」「棚底城跡出土遺物」「戦国時代の天草の概況が記録された『八代日記』パネル」。天正の天草合戦関連では、「天草島内の中世の古塔パネル」「天草五人衆の居城等50数ヶ所の天草の中世城跡出土遺物」「本渡城の戦い等天正の天草合戦図示パネル」「志岐文書やその他中世文書パネル」「戦国時

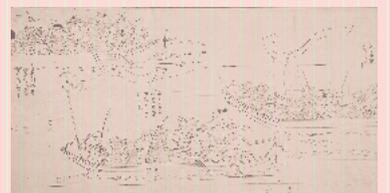
## 天草市立本渡歴史民俗資料館

31 MAP A-4

### 「天草の戦国時代」

会期／2019年10月19日(土)～  
12月28日(土)

代の九州における天草勢の様相図示パネル」。そして、「島内外に残る中世の現物資料(400年以上ぶりの里帰りとなる人吉市観音寺観音堂の鰐口、坂本町大門観音堂の鰐口)および「今回初の公開となる熊本花園大矢野家所蔵の『蒙古襲来絵詞(白描)』」なども展示します。



熊本花園大矢野家所蔵「蒙古襲来絵詞(白描)」

# コレクション紹介

### 富田大鳳（日岳）の書



富田大鳳（日岳）は宝暦十二年（1762）鹿本郡鹿本町津袋に代々続く医家に生れた。幼少の頃から志高く、家学（荻生徂徠の古文辞学）を継承信奉し、肥後国学の祖とされる高本紫溟の門を叩いた。又勤王の士として知られる齊藤権之助、境野嘉十郎らと交友、勤王の大義を語り合う仲となった。高山正之（彦九郎）とも交流、彦九郎が熊本を訪れた時は富田家に身を寄せ、大鳳が案内をするのが常であった。大鳳の俗称は大淵、字を伯凶、陰医日岳と称し藩校再春館の師範として医学を教えた。しかし型に嵌まるのを善しとせず師範を退き、憂国の志士と交流を持った。徳川幕府の禁制を破り妖刀青山村正を腰にたばさみ、酔えば剣舞しながら幕府を非難した。酒を好み自由気儘な生活が禍して病に罹り享和2年2月に歿した。享年42。常に皇室の衰微を嘆き憂国の念を一日たりと忘れなかった。その思想は子の文山、宮部鼎蔵の父春斎・松村大成、永島三平らに受け継がれている。高本紫溟、林校園と共に肥後勤王の三哲と称せられた。明治44年贈従4位。

#### 神風連資料館のご案内

神風連資料館は、明治9年（1876年）に熊本で起こった「神風連の変」で敗れた志士たちを祀る桜山神社の境内にあります。神風連の変は、明治維新後急速に欧米化する政府と、日本古来の伝統や文化の崩壊を憂慮し、熊本の士族で作る「敬神党（神風連）」が拳兵し、熊本城に置かれた熊本鎮台を襲撃した事件です。資料館には、信仰を重んじ、王政復古による日本古来の神道に基づいた政治を目指そうとした神風連（敬神党）と肥後勤王党の重要な資料や貴重な遺品が展示されています。

■ 所在地：〒860-0862 熊本市中央区黒髪5-7-60 桜山神社境内 ■ TEL：096-343-5504 ■ 休館日：火曜日、年末年始  
■ 開館時間：10：00～16：30 ■ 入場料：大人300円、中学・高校生200円、小学生以下100円

## 博物館のお仕事

### 熊本県立美術館 林田 龍太

1 MAP C-2

#### 美術品を借りる・輸送する



当館の特色といえば、永青文庫展覧会事業が挙げられます。永青文庫は東京・目白台にある、大名細川家伝来の美術工芸品を集めた美術館。我々は永青文庫の所蔵品をお借りし

ながら、小さな企画展を年3～4回ほど開催しているのです。ただし、開催に向けての業務量はなかなか膨大。そこで今回は、当館の永青文庫展覧会業務のうち、特に借用・輸送作業についてご紹介したいと思います。

作品をお借りする際には、所蔵先（今回の場合は永青文庫）での点検が必要です。この作業はレンタカーと同じ。どこにキズがあって、取り扱う際にはどこが危険かを、所蔵先の学芸員と一緒に記録します。しかし、お借りするのは車ではなく美術工芸品。我々は全神経を総動員して点検しながら、N通さんに指示を出し、梱包して頂くのです。

借用が終わったら、今度は輸送です。この時我々は、N通さんがお持ちの「美術品専用車」（通称「美専」）という、特別なトラックをういます。作品を美専に載せたら、学芸員は飛行機や新幹線で移動というのがよくあるパターン。しかし永青文庫の場合、お借りする作品の大半は国宝・重要文化財クラスです。緊急事態に対応すべく、我々は美専に同乗して東京から熊本を目指すのです。



美専内の様子（熊本へ向かっています）

東京を朝9時前に出て、熊本までは約2日間。その間は概ねN通さんとの芸術的な雑談に費やされます。「ジャーニーさんが亡くなったらいいスね」とか、「マスオさんの声、変わったらしいスよ」などと。また多忙極まる際には車内で解説原稿の執筆や校正を行うことも。そんな時、我々は鬼の形相をしているのだとか。

熊本にたどり着くのは翌日の夜8時ごろ。臀部は崩壊状態ですが、お借りしたものは直ちに収蔵庫で保管しなければなりません。N通さんや他の学芸員の手を借りつつ、全ての借用品の保管を確認した学芸員の胸には、こんな思いが去来します。「明日から展示か…まだ作品解説、書き終わってないけど。」



#### 施設のご紹介 — 熊本県立美術館 本館 —

熊本城二の丸広場にある、古代から現代までを網羅した総合美術館。大名細川家に伝来する美術工芸品の「細川コレクション」、今西菊松氏が収集した肉筆浮世絵や近代工芸による「今西コレクション」、それに

ルノワールやレオナルド・フジタ（藤田嗣治）の作品を含むエコール・ド・パリの絵画コレクションは見どころの一つ。世界的に知られる銅版画家・彫刻家の浜田知明氏の作品を展示する「浜田知明室」も。

## 水俣・葦北地域における芸術文化活動の拠点 つなぎ美術館

## 施設の概要・特徴について教えてください

つなぎ美術館は、小さな町の町立の美術館である。津奈木町の中心地、温泉施設や物産館が並び国道沿いにあり、すぐそばには町のシンボルである高さ80メートルの岩山がそびえ立っている。美術館から運行されているモノレールに乗り、その岩山「重盤岩」の展望所まで行くと、津奈木町を見下ろすことができる。

津奈木町は山と海とをひとさじで掬ったような、ほどよい広さの町である。人口は減少を続けており、現在は4500人ほどになる。水俣市の隣に位置し、向かいの天草と囲むようにおだやかな海と接する津奈木町は、人口に対する水俣病の被害者数の割合が最も多かったといわれている。昭和59年から「緑と彫刻のあるまちづくり」を掲げ、アートによって町のイメージや人々の価値観に変化を促し、人にも地域にも良い風が吹き始めるように「爽風」などの彫刻作品を町のあちこちに設置し始める。そして2001年に、アートを軸にした町づくりの拠点としてつなぎ美術館が開館した。2008年には住民参画型アートプロジェクトを開始し、アートと住民との距離感を近づけて関わる人を増加させるなど、設立の理念に沿って活動をしている。

## 展示について教えてください

今年2019年の春には、収蔵作品の中核となっている画家・境野一之の展覧会を開催した。熊本県ゆかりの抽象画家の没後30年特別企画展として、熊本県立美術館に収蔵されている作品や個人蔵の作品などが集まった。また、作品だけでなく、画家のプライベートな一面が垣間見えるエピソードを知る人に話を聞き、作品と共に展示した。作品や画家と近い距離にいた人の言葉が、鑑賞者と作品の距離を近づけた。今年はそういった企画展の他にも、3年をかけて実施するアートプロ



つなぎの根っこ ワークショップ中の様子

ジェクトの1年目の成果展や、滞在制作プログラムの成果展も開催する。また、若手作家を支援する「U-39KUMAMOTO」(スペース無料で貸し出し)では、毎年それぞれに個性の豊かな作品と出会うことができる。

他にも、アーティストと住民と一緒に作り上げた「つなぎの根っこ」という作品がある。駅前や中学校などのアスファルトの路面に、横断歩道などで使用される白線の素材を焼き付けて制作された作品であり、やわらかい形の動物や植物などが模様のように描かれている。制作や運営に津奈木町の人を巻き込み住民の心に変化を起こそうとするこういった取り組みは、価値観や考え方の新たな展開を促すものである。その活動の痕跡と、町のそこそこで作品として接することができる。

## おすすめの収蔵品について教えてください

つなぎ美術館は、土地ゆかりの作家の作品を擁して作られた美術館ではない。しかし、2013年からは、津奈木町の中で生み出された作品が毎年収蔵され続けている。

アーティスト・イン・レジデンスつなぎでは、作家が数か月間滞在しながら作品を制作する。作家にとっては今までと違った環境での活動になり、刺激になる。町に暮らす人々にとっても、外からのあざやかな感性との交流は、得難い瞬間になる。土地ゆかりのコレクションがなかったつなぎ美術館であるが、リアルタイムで構築されていくこの町のアートがあり、それがそのまま収蔵作品として蓄積されていく。来年の冬には、今までの作家6人分の収蔵作品と新作を集めた展覧会を開催する予定である。

## 今後の予定について教えてください

2021年にはつなぎ美術館が開館してから20年が経つ。「緑と彫刻のあるまちづくり」がはじまってからは、既に35年が経っている。津奈木町は彫刻のある町になり、住民参画型アートプロジェクトがある町になり、毎年外からアーティストを迎える町になった。そうして変化してきた現状が、開館20周年に合わせて進める「柳幸典 つなぎプロジェクト」で改めて問い直されることとなる。

社会と密接に関わりあう作品を発表する柳幸典氏を招聘し、現在の津奈木町を改めてアートによって捉えなおすという3年間のこのプロジェクトの先、20年目の美術館では、プロジェクトの集大成としての展覧会も開催される予定だ。そうしてまた次の20年、そしてその先へと、アートと町との関係性の実験と成果の捉えなおしを続け、多様な価値観を有する開かれた住みよい町を目指して歩みを進めていく。

## つなぎ美術館

■ 所在地：〒869-5603 芦北郡津奈木町大字岩城494番地 ■ TEL：0966-61-2222  
 ■ 休館日：水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 ■ 開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで)  
 ■ 入場料：一般 300円 / 大学・高校生 200円 / 小中学生 100円





## 日本が誇る世界的な細菌学者の世界へ

# 北里柴三郎記念館

### 施設の概要・特徴について教えてください

小国町出身である故北里柴三郎博士の生家や、博士から小国町に寄贈された北里文庫（図書館）を改修し、偉業をたたえているのが北里柴三郎記念館です。

この施設は生前、博士が大正5年（1916）に建てた、貴賓館と北里文庫があった敷地に、昭和62年、博士の学問を受け継ぐ北里研究所、北里学園が中心になって博士の生家の復元修復を行うとともに、北里文庫の建物を利用して博士に関する遺品などを陳列し、小国町に寄贈されたものです。その後、平成24年より北里研究所の寄付により北里柴三郎記念館の全体改修工事が始まり、平成26年工事が完了しブランドオープンを迎えました。

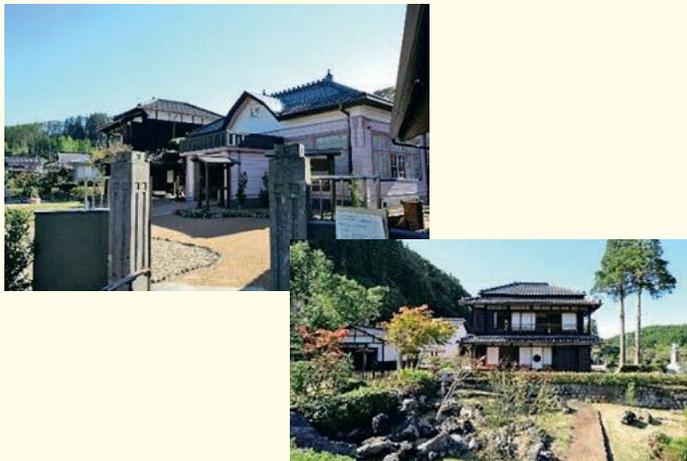


北里文庫は、博士が郷里の青少年のために図書館を作ることを思い立ち、私財を投じて設立したものです。建設後は図書を購入して司書などの費用も負担しました。博士の没後も第二次大戦中まで図書館として使用されました。

現在は博士に関する遺品などを陳列し、資料館となっています。

貴賓館は、博士が帰省の際の居宅として、また、郷里を訪れた賓客をもてなす場所として建てられました。建物は地元の小国杉を主として用い、当時の木造建築として質素な中に丹念な施工のあとがうかがえます。また、二階の客間からは小国町のシンボルとされる涌蓋山が一望できるのが実に印象的です。

生家は、敷地北側に隣接する通称坂下屋敷とよばれる川沿いに建て



られたもので、総庄屋としての建物の一部になります。洪水防止のための河川改修の関係で昭和40年この敷地に移築されました。

また施設内には売店も設置されており、そこでは柴三郎グッズや書籍なども販売しています。



### 常設展示について教えてください

北里文庫内では、展示物を通して博士を具体的に知ってもらうため、博士の生誕から終焉までの間に起こった主な事項を、年を逐って写真で示し、その下に関連する遺品を配置しています。

博士の郷里に設けられた記念館なので、博士が初めて熊本に出られた時にご両親に出された手紙のほか、5点古い文書、北里文庫落成時の写真、郷里から受けた感謝状等を展示しています。



### おすすめの収蔵品について教えてください

破傷風菌の純粋培養法の確立（1889）・血清療法の発見（1890）は全人未踏のものであったため、それにかかわる北里亀の子シャーレ（博士が改良考案した嫌気性培養装置）や当時の新聞記事などの展示品があります。

### 今後の予定について教えてください

令和元年9月13日（金）にお月見会が催されます。普段閉館している夜の時間帯を使って、地元小学生による童話発表や小国町で活動しているどんぐりころころの会による紙芝居や朗読、またジャズユニットによるジャズの演奏が予定されています。そのほかにも、町内外の方に楽しんでいただけるイベント等を現在思案中です。また、大相撲阿蘇小国場所実行委員会と小国町の主催で、令和元年12月7日（土）に「熊本地震復興祈念・北里柴三郎博士新千円札肖像画採用記念」と題して大相撲阿蘇小国場所が開催される予定となっています。

一般財団法人学びやの里 北里柴三郎記念館

- 所在地：〒869-2505 阿蘇郡小国町北里3199 ■ TEL：0967-46-5560
- 休館日：年中無休（ただし、12/29～1/3を除く） ■ 開館時間：9：30～16：30
- 入場料：大人400円（300円）/小学生・中学生・高校生 250円（200円）/幼児 無料（ ）は20名以上の団体料金



施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<b>1 熊本県立美術館</b> 熊本市中央区二の丸2番地 ☎096-352-2111 開館時間／9:30～17:15(入館は16:45まで) 休 館 日／月曜日(祝日・休日の場合は翌平日) 観 覧 料／◆本館2階展示室 一般280円、大学生170円 ◆別棟展示室 一般210円、大学生130円 ◆本館2階及び別棟展示室の共通券 一般430円、大学生260円 ※障がい者手帳をお持ちの方及び 高校生以下無料 ※特別展は展覧会毎に異なります。	MAP C-2 大名細川家の歴史と美(7/23～10/14) 名作浮世絵の世界—今西コレクション名品展(9/10～10/20) 永遠の海～中村征夫・中村卓哉写真展(9/21～10/27)						
	一般1,000円(800円)、大学生800円(600円)、本館2階・別棟共通券一般1,100円(当日団体900円) ※( )内は、20名以上の団体料金	勇姫—幕末維新期を生きた細川家のお姫さま—(10/22～12/15) 熊本城大天守外観復旧記念 熊本城と武の世界(10/26～12/15)					
	大名細川家の茶道具と近代絵画(1/8～3/22)						
	障がいのある方々の鑑賞デー(10/7、11/18(9:30～17:15))						
	ミュージウムセミナー「勇姫—幕末維新期を生きた細川家のお姫さま」(11/30(14:00～15:00)) ミュージウムコンサート(12/1(13:00～13:30、15:00～15:30)) ミュージウムセミナー「加藤家・細川家ゆかりの甲冑と刀剣」(12/7(14:00～15:00))						
							
<b>2 熊本市現代美術館</b> 熊本市中央区上通町2-3 びぶれず熊日会館3階 ☎096-278-7500 開館時間／10:00～20:00 (企画展示入場は19:30まで) 休 館 日／毎週火曜日、年末年始 (12/29～1/3) 入 館 料／無料(ただし企画展示入場は有料)	MAP C-2 【共通チケット】 一般1,000円(800円)、65歳以上800円(600円)、学生(高校生以上)500円(400円)、中学生以下無料 ※( )内は、前売り、団体、各種割引料金	2019年度国立美術館巡回展 東京国立近代美術館所蔵品展 きっかけは「彫刻」—近代から現代までの日本の彫刻と立体造形(9/21～11/24) CAMKコレクション展vol.6 きっかけは「彫刻」。 —現代日本の彫刻と立体造形(9/21～11/24)					
	ドレス・コード?—着る人たちのゲーム—(12/8～2/23) 一般1,100円(900円)、65歳以上900円(700円)、学生(高校生以上)600円(500円)、中学生以下無料 ※( )内は、前売り、団体、各種割引料金						
	第31回 熊本市市民美術展 熊本アートパレード(3/7～3/22)						
<b>3 熊本大学五高記念館</b> 熊本市中央区黒髪2-40-1 ☎096-342-2050 開館時間／閉館中 休 館 日／閉館中 入 館 料／無料	MAP C-2 五高記念館文化講座「漱石の家—小説の家—熊本の家—」(10/1(13:30～15:30)) (注)開催場所は、どちらも放送大学熊本学習センター講義室 五高記念館文化講座「明治の熊本を歩く」(10/8(13:30～15:30))						
<b>4 熊本県伝統工芸館</b> 熊本市中央区千葉城町3-35 ☎096-324-4930 開館時間／9:00～17:00 (交替りの展示は最終日のみ16:00まで) 休 館 日／月曜日が祝日・休日の場合、翌日がお休み 12/28～1/4 入 館 料／入館無料 2階企画・常設展示室のみ有料 大人210円(140円) 大学生・短大生 専門学校生は130円(100円) ※( )内は、20名以上の団体料金	MAP C-2 ぐらしの工芸展2019(10/29～11/4 無料) くまもとの工芸展(9/18～12/15) 熊本県伝統工芸館収蔵品展「日本の古玩具展」(1/7～2/16) 匠の技と心～未来に繋ぐ熊本の工芸Ⅱ～(2/26～3/29)						
<b>5 熊本博物館</b> 熊本市中央区古京町3-2 ☎096-324-3500 開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで) 休 館 日／毎週月曜日(祝日の場合はその次の平日) 入 場 料／一般400円、高校・大学生300円、 小中学生200円	MAP C-2 一般500円、高校・大学生400円、 小中学生300円(別途入場料)	秋季特別展「追憶の熊本—画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶—」(10/5～11/24) 国立科学博物館連携事業「生命のれきし～君につながるものがたり～」(12/3～1/26) 企画展「学校を飛び出した先生、熊本に来る～民俗学者・宮本常一と昭和の宿題～」(2/8～3/22) 秋季特別展・学芸員による展示解説(10/5、11/2、11/9、11/23(14:00～約40分)) 講演会「甲斐青萍が描いた熊本町並図から見えること」(10/12(13:30～15:30)) 講演会「熊本地震からの復旧について」(11/4(13:30～15:00)) 子ども科学・ものづくり教室「静電気実験ショー」(12/7(13:15～、14:30～、15:45～約25分))					

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>6 くまもと文学・歴史館</b> 熊本市中央区出水2丁目5番1号 ☎096-384-5000 開館時間/9:30~17:15 休館日/火曜日(祝日の場合は翌日休館日) 毎月最終金曜日 年末年始(12/28~1/3) 入館料/無料	MAP C-2					
	企画展「祈りの島 天草とその海」(9/19~11/10)					
	収藏品展「アーカイブズにみるくまもと14」(11/27~1/12)					
	企画展「山崎文庫展」(1/23~3/9)					
収藏品展「アーカイブズにみるくまもと15」(3/20~5/5)						
<b>7 島田美術館</b> 熊本市西区島崎4-5-28 ☎096-352-4597 開館時間/10:00~17:00 休館日/火曜定休・展示替え期間 年末年始(12/27~1/3) ただし1/4~1/6は10:00~15:00 入館料/一般700円・大・高校生400円、 小・中学生200円	MAP C-2					
	勝って兜の緒を締めよ —Spectacular Helmets of Japan— (9/14~1/20)					
<b>9 新聞博物館</b> 熊本市中央区世安町172 ☎096-361-3071 開館時間/10:00~17:00 休館日/日曜・祝日・年末年始 入館料/無料	MAP C-2					
	企画展「ラグビーワールド杯」(9月中旬~11月上旬)					
	企画展「令和 即位礼正殿の儀」展(10月中旬~年末)					
	企画展「女子ハンドボール世界選手権」 (11月下旬~年末)					
[全国新聞新年号展](1月中旬~2月末)						
[2019九州報道写真展](3月上旬~3月末)						
<b>10 肥後の里山ギャラリー</b> 熊本市中央区練兵町1番地 肥後銀行本店1階 ☎096-326-7800 開館時間/9:30~16:30 休館日/日曜日・祝日・年末年始 入館料/無料	MAP C-2					
	復興のシンボル 熊本城・阿蘇神社(9/30~11/16)					
	熊本の水と緑の風景展Ⅴ 大阿蘇—阿蘇を見つめた熊本の画家たち—(12/2~2/1)					
熊本の現代作家展Ⅴ 中村賢次展—伝統と挑戦—(2/25~4/11)						
<b>11 熊本市 くまもと工芸会館</b> 熊本市南区川尻一丁目3番58号 ☎096-358-5711 開館時間/1階 9:00~17:00 2階・3階 9:00~21:00 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日) 12/28~1/4 入館料/無料	MAP C-3					
	2019工芸品フェスタ(10/25~10/27)					
	尾張名古屋の民芸品展(11/20~12/1)					
	冬あかり展(12月中旬予定)					
	2020民芸品まつり(1/8~1/19)					
	熊本の女性工芸作家展(1/28~2/2)					
2020筑前博多の伝統工芸品展(2月予定)						
春の風物展(3月予定)						
<b>12 熊本市 塚原歴史民俗資料館</b> 熊本市南区城南町塚原1924番地 ☎0964-28-5962 開館時間/9:00~16:30 休館日/月曜日(月曜日祝日の場合は翌日) 入館料/高校生以上200円 (団体30名以上160円) 小中学生100円 (団体30名以上80円)	MAP C-3					
	熊本市遺跡発掘速報展(12月後半~1/31)					
	学芸員と歩く野外博物館(10/13(9:00~12:00))					
	土器作り講座(10/27(9:00~12:00)、11/10(10:00~12:00))					
	古代文様の文鎮を作ろう(11/24(10:00~12:00))					
	編布づくり教室(12/8(10:00~12:00))					
埴輪づくり教室(1/26(9:00~12:00)、2/23(10:00~12:00))						

[ 県 央 ]

展示 イベント

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>13 熊本市</b> <b>田原坂西南戦争資料館</b> 熊本市北区植木町豊岡858番地1 ☎096-272-4982 開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日/12/29~1/3 入館料/一般個人300円、団体240円 小・中学生 個人100円、団体80円			企画展「西南戦争のお金事情(仮称)」(11/23~3/1)			
			企画展「金栗四三と西南戦争—山鹿口の戦い—」(10/1~3/31 無料)			
		ミニ講座「民謡田原坂こぼれ話」(10/13(13:00~14:00) 無料)				
		ミニ講座「地獄峠の激闘」(11/10(13:00~14:00) 無料)				
			ミニ講座「日本刀での死闘」(12/8(13:00~14:00) 無料)			
				ミニ講座「美少年の兵士たち」(1/12(13:00~14:00) 無料)		
	ミニ講座「斃れた兵士たちが眠る墓」(2/9(13:00~14:00) 無料)					
		ミニ講座「日本赤十字社が生まれた地」(3/8(13:00~14:00) 無料)				
<b>14 熊本国際民藝館</b> 熊本市北区龍田1-5-2 ☎096-338-7504 開館時間/10:00~16:00 休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日) 入館料/500円			企画展「懐かしき生活の中の木工」(8/6~12/1)			
			企画展「祝いの工藝」(12/6~3/31)			
<b>15 宇城市不知火美術館</b> 宇城市不知火町高良2352 ☎0964-32-6222 開館時間/10:00~18:00まで (土日祝は17:00まで) 休館日/月曜(月曜が祝日の場合は翌火曜) 入館料/企画展は有料 大人300円、大高生200円、 中学生以下無料		企画展「楽しむ空間 書に遊び 絵に想う」(9/12~10/27)				
			企画展「収蔵品展」(1/5~2/2)			
			マナブ問部記念第11回宇城市児童生徒絵画作品展(2/4~2/16 無料)			
					第30回手でみる造型展(3/4~3/15 無料)	
<b>16 熊本県博物館</b> <b>ネットワークセンター</b> 宇城市松橋町豊福1695 ☎0964-34-3301 開館時間/9:00~17:00 休館日/月曜日(祝日の場合は次の平日)、 年末年始 入館料/無料			企画展「ちょっと昔のくらし探検X」(10/8~12/15)			
			企画展「レンズでのぞこう!植物のせかい」(1/7~3/15)			
						企画展「松橋地域に残る古文書の世界」(3/24~6/14)
<b>17 御船町恐竜博物館</b> 上益城郡御船町大字御船995-6 ☎096-282-4051 開館時間/9:00~17:00(入場は16:30まで) 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始 *ゴールデンウィークや夏休み、特別展開催時などは月曜日も開館することがあります。 入館料/大人500円、高校・大学生300円、 小・中学生200円、小学生未満*は無料 *ただし保護者の同伴が必要		わくわく体験教室「プチクリーニング体験」(10/12(10:00~14:00) 200円)				
		わくわく体験教室「恐竜缶バッジづくり」(10/26(10:00~14:00) 100円)				
		わくわく体験教室「恐竜コースターづくり」(11/9(10:00~14:00) 100円)				
			わくわく体験教室「紙粘土でアンモナイトづくり」(11/23(10:00~14:00) 100円)			
				わくわく体験教室「アンモナイトのマグネットづくり」(12/14(10:00~14:00) 100円)		
					わくわく体験教室「恐竜缶バッジづくり」(1/11(10:00~14:00) 100円)	
				わくわく体験教室「恐竜の貼り絵づくり」(1/25(10:00~14:00) 100円)		
				わくわく体験教室「キラキラ石の万華鏡づくり」(2/8(10:00~14:00) 200円)		
				わくわく体験教室「恐竜のポップアップカードづくり」(2/22(10:00~14:00) 100円)		
			わくわく体験教室「恐竜キーホルダーづくり」(3/14(10:00~14:00) 100円)			
			わくわく体験教室「新規プログラム」(3/28(10:00~14:00) 100~200円)			
					国立科学博物館コラボミュージアムin御船「生命のれきしー君につながるものがたりー」(3/21~5/10)	

[ 県北 ]

展示 イベント

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>18 荒尾市宮崎兄弟資料館</b> 荒尾市荒尾949-1 ☎0968-63-2595 開館時間/9:30~17:00 休館日/月曜日(祝日の場合はその次の平日)、 年末年始(12/29~1/3) 入館料/一般210円、小中学生100円	企画展「日本からシンガポールへ—宮崎兄弟と孫文と辛亥革命—」(9/3~3/29)					
<b>19 玉名市立 歴史博物館ころろピア</b> 玉名市岩崎117 ☎0968-74-3989 開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日/月曜日および祝日の翌日、年末年始 入館料/一般300円、大学生200円、 高校生以下無料(常設展・企画展のみ有料)	企画展「金栗四三展 とつけむにゃー展示ばい!!」(5/18~1/13) 催し物「西依成斎顕彰書道展~玉名と若狭をむすぶ~」(10/5~10/14 無料) 催し物「ころろピア書道展~金栗放送記念~」1~3年生(10/19~10/29 無料) 催し物「ころろピア書道展~金栗放送記念~」4~6年生(11/2~11/10 無料) 企画展「玉名の米作り~二千年の歴史~」(1/25~4/12) 催し物「玉名都市特別支援学級児童・生徒作品展」(2/6~2/16 無料) 催し物「金栗四三展」(2/22~3/22 無料) お正月コンサート(1/18 無料) 春の音コンサート(3/20 無料)					
<b>20 熊本県立装飾古墳館</b> 山鹿市鹿央町岩原3085番地 ☎0968-36-2151 開館時間/9:30~17:15 休館日/毎週月曜日(祝日の場合はその次の平日) 入館料/430円	企画展示「八代海周辺の装飾古墳展」(11/6~12/15) 古墳館へ行かnight!(10/12(18:00~20:00))					
<b>21 山鹿市立博物館</b> 山鹿市鍋田2085 ☎0968-43-1145 開館時間/9:00~17:00 休館日/月曜日(月曜日が祝日の場合その翌日) 入館料/一般・大学生270円、 高校生以下70円	「化石が語る生物の進化展」(7/20~11/4) 「大代寅次郎展」(11/23~3/1) まちなか博物館「やまがの懐かしい風景展」(2/8~2/16 無料) ランタンフェスティバル(10/5(18:00~20:00) 無料) 肥後古代の森やまが音楽祭(11/16(13:30~15:30) 無料 対象:小学生以上)					
<b>22 わいふ一番館</b> 菊池市隈府1 ☎0968-24-6630 開館時間/9:00~17:00 休館日/毎週月曜日(ただし、祝日の場合は翌日) 入館料/一般200円、小・中学生100円	菊池武光生誕700周年祈念特別企画展 武光 九州を征した男— (8/9~12/1)					
<b>23 阿蘇火山博物館</b> 阿蘇市赤水1930-1 ☎0967-34-2111 開館時間/9:00~17:00(16:30最終入館) 休館日/無し 入館料/860円	国立科学博物館コラボミュージアム in 阿蘇 「生命のれきしー君につながるものがたりー」(10/8~11/24)					
<b>25 坂本善三美術館</b> 阿蘇郡小国町黒淵2877 ☎0967-46-5732 開館時間/9:00~17:00 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日) 入館料/一般500円、大高生400円、 小中生200円	ふるさとのグレー 坂本善三と灰色(7/13~11/10) 我が家の善三先生 寄託作品展 (11/15~1/19) 坂崎隆一展 裏を返せば (11/15~1/19 無料) おいしいもので作る善三展(1/25~3/15) リトグラフィの魅力(3/20~6/14) 手しごとカフェ(毎月5日と20日(13:00~15:00)) ZENZOアートフリマ(10月末 無料)					

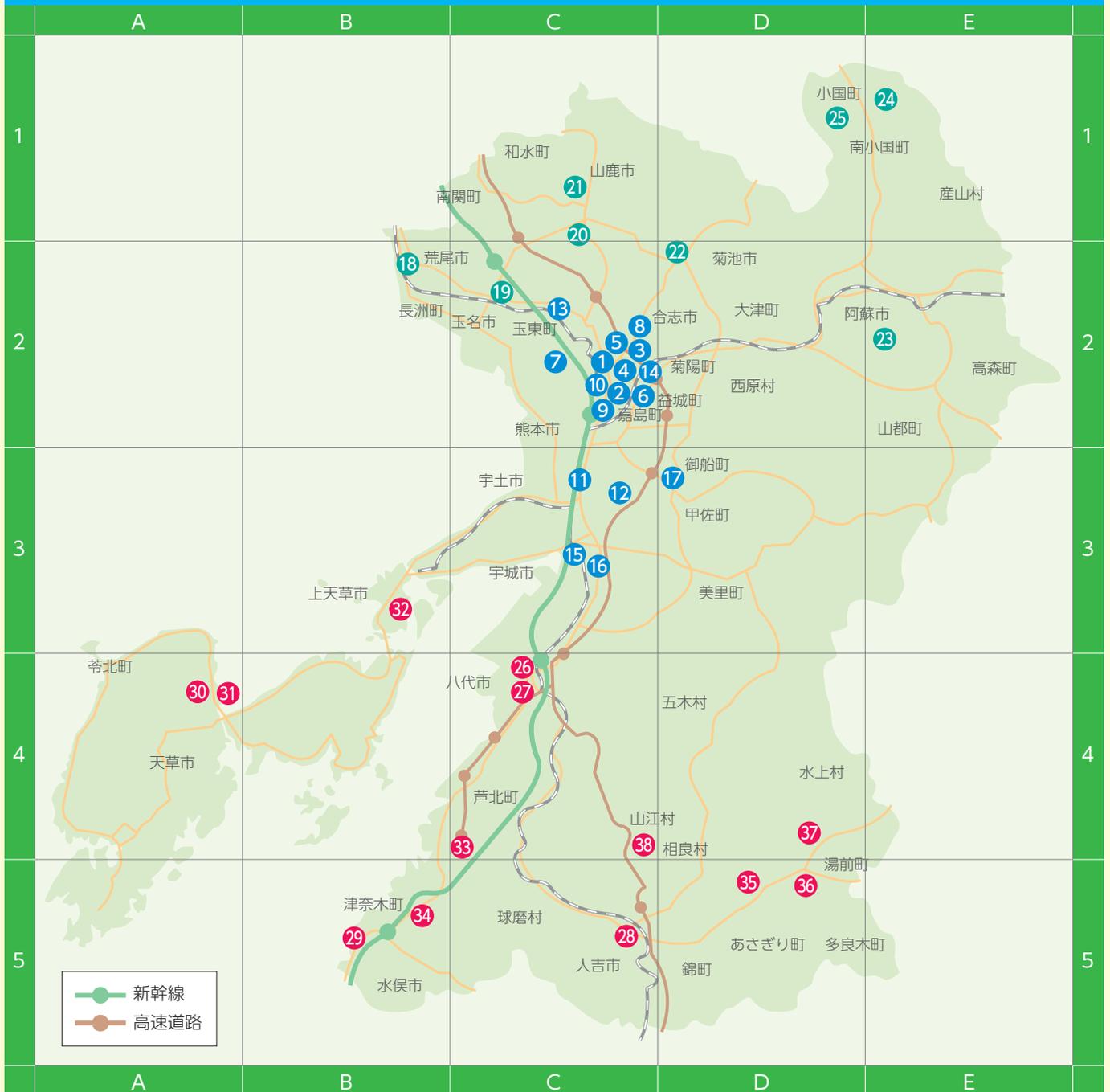
[ 県 南 ]

■ 展示 ■ イベント

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p><b>26 松井文庫驥斎</b> 八代市北の丸3-15 ☎0965-33-0171 開館時間／9:00～17:00 休 館 日／月曜日(祝日の場合は次の平日) 入 館 料／大人500円、小中学生250円</p> <p>MAP C-4</p> 					<p>妙見祭礼絵巻(10月中旬～1月末)</p> <p>八代焼いろいろ(10月中旬～1月末)</p> <p>松井家の雛祭り(2月上旬～3月末)</p> <p>わび茶の美(2月上旬～3月末)</p>	
<p><b>27 八代市立博物館 未来の森ミュージアム</b> 八代市西松江城町12-35 ☎0965-34-5555 開館時間／9:00～17:00 休 館 日／毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始の休日 入 館 料／一般310円(240円)、 高大生200円(160円) ※( )は20人以上の団体料金</p> <p>MAP C-4</p> 			<p>秋季特別展覧会「もののふと茶の湯－利休から織部・忠興・康之へ－」 (10/25～12/1) 一般600円、高大生400円(入館料含む)</p>			
<p><b>28 人吉城歴史館</b> 人吉市麓町18番地4 ☎0966-22-2324 開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで) 休 館 日／毎月第2月曜 (当該日が祝祭日の時は翌日の火曜日) 入 館 料／210円、団体150円(20名以上)、 高校生以下無料</p> <p>MAP C-5</p>			<p>企画展「人吉城石垣普請と復旧」 (9/27～12/8)</p>			
<p><b>29 水俣病歴史考証館</b> 水俣市袋34番地 ☎0966-63-5800 開館時間／9:00～17:00 休 館 日／土曜日(祝日の場合開館)・年末年始 入 館 料／500円+消費税</p> <p>MAP B-5</p> 			<p>ユージン・スミスに関する特別展示(開催中～3/31)</p>			
<p><b>30 天草市立 天草キリシタン館</b> 天草市船之尾町19番52号 ☎0969-22-3845 開館時間／8:30～17:00(入館は16:30まで) 休 館 日／12/30～1/1 入 館 料／大人300円、高校生200円、 小中生150円 団体(20名以上)2割引</p> <p>MAP A-4</p> 		<p>天草四郎陣中旗 特別展示(11/1～11/7)</p>				<p>天草四郎陣中旗 特別展示(3/1～3/7)</p> <p>わくわく歴史探検隊(11/3(8:30～10:30) 無料 対象:小学生以上)</p>
<p><b>31 天草市立 本渡歴史民俗資料館</b> 天草市今釜新町3706 ☎0969-23-5353 開館時間／8:30～17:00(入館は16:30まで) 休 館 日／月曜日(祝日の場合は、後の最も近い平日) 12/29 入 館 料／無料</p> <p>MAP A-4</p> 			<p>令和元年度天草市立本渡歴史民俗資料館秋期特別展 棚底城跡国指定史跡10周年・天正の天草合戦430周年記念 「天草の戦国時代」(10/19～12/28)</p> <p>特別展ギャラリートーク 講師 大矢野種康氏(熊本花園大矢野家当主・白描法蒙古襲来絵詞所蔵者) 演題 「それからの大矢野家」 (11/30(13:30～16:00) 先着150名) (注)講演会の開催場所は、天草市民センター展示ホール</p>			

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>32 天草四郎ミュージアム</b> 上天草市大矢野町中977-1 ☎0964-56-5311 開館時間 / 9:00~17:00 休館日 / 年末、年始(12/29~1/1) 施設点検日(1月及び6月の第2水曜日) 入館料 / 大人600円、小人300円	ハナクラベ 舞踊団「花童」定期公演(10/19、11/16、12/22、1/18、2/15、3/21(11:00~11:30、14:00~14:30))					
	天草地方のクリスチアンの歴史を学ぶ集い (10/5、10/12、11/9、11/23、12/14、12/28、1/11、1/25、2/8、2/22、3/14、3/28(11:00~11:15、14:00~14:15))					
	(10/5、10/12、11/9、11/23、12/14、12/28、1/11、1/25、2/8、2/22、3/14、3/28(11:00~11:15、14:00~14:15))					
<b>33 芦北町立 星野富弘美術館</b> 芦北町湯浦1439-2 ☎0966-86-1600 開館時間 / 9:00~17:00 休館日 / 毎月第2・4月曜(祝日の場合は翌平日)、 年末年始(12/29~1/3)、 その他標蒸による臨時休館有り 入館料 / 一般500円、小中学生300円、 幼児無料	特別展「雨の日も晴れた日も」／「秋の展示」 (9/25~12/22)					
	特別展「朝の光の中で」／「冬の展示」 (12/24~3/8)					
	企画展「第13回星野富弘美術館詩画公募展入賞作品展」／「春の展示」(3/10~5/10)					
<b>35 古代の風・黒の蔵 (多良木町埋蔵文化財等センター)</b> 球磨郡多良木町大字黒肥地字藁田4282番地 ☎0966-42-7520 開館時間 / 9:00~17:00 休館日 / 毎週月曜日 (祝日の場合はその次の平日) 入館料 / 無料	企画展「一高精細複製品「風神雷神図屏風」(尾形光琳筆)／夏秋草図屏風(酒井抱一筆)」 (9/24~10/27)					
	日本遺産絵画コンクール作品展 (11/12~1/19)					
	企画展「(仮)和紙の可能性とポップカルチャー」(1/28~3/22)					
講演会「日本の拳遊び」(10/18(14:00~15:30))						
<b>36 湯前まんが美術館</b> 球磨郡湯前町1834番地1 ☎0966-43-2050 開館時間 / 9:30~17:00 休館日 / 12/28~1/3 入館料 / 大人300円(210円)、 小・中学生100円(70円) ( )内は20名以上の団体	企画展「那須良輔 絵本原画」(9/7~10/20)					
	企画展「原点回帰~古今東西まんがのキセキ~」(9/7~2/2)					
	企画展「サイレント漫画(仮)」(10/26~11/28)					
	企画展「崇城大学 マンガ表現コース学生作品(仮)」(12/16~2/2)					
	企画展「第28回那須良輔風刺漫画大賞作品」(2/8~3/22)					
風刺漫画クイズラリー(1/18~2/24 ※各チェックポイントの営業時間内)						
<b>37 岩野公民館</b> 球磨郡水上村岩野2678番地 ☎0966-44-0333 開館時間 / 8:30~17:15 休館日 / 日曜、祝日 入館料 / 無料	千人塚古墳群出土品展示(10/1~3/31)					
<b>38 山江村歴史民俗資料館</b> 球磨郡山江村山田甲1360 ☎0966-23-3665 開館時間 / 10:00~17:00(入場16:30まで) 休館日 / 月曜日 入館料 / 200円 ※高校生以下無料	企画展「やまへのほとけ展」(9/13~11/15)					
	企画展「130年 山江の歩み写真展」 (11/27~1/19)					
	山江村文化協会主催「第3回やまへのほとけ展」(2/25~3/22 無料)					

# くまもとミュージアムMAP



## [県 央]

- ① 熊本県立美術館
- ② 熊本市現代美術館
- ③ 熊本大学五高記念館
- ④ 熊本県伝統工芸館
- ⑤ 熊本博物館
- ⑥ くまもと文学・歴史館
- ⑦ 島田美術館
- ⑧ 神風連資料館
- ⑨ 新聞博物館

- ⑩ 肥後の里山ギャラリー
- ⑪ 熊本市くまもと工芸会館
- ⑫ 熊本市塚原歴史民俗資料館
- ⑬ 熊本市田原坂西南戦争資料館
- ⑭ 熊本国際民藝館
- ⑮ 宇城市不知火美術館
- ⑯ 熊本県博物館ネットワークセンター
- ⑰ 御船町恐竜博物館

## [県 北]

- ⑱ 荒尾市宮崎兄弟資料館
- ⑲ 玉名市立歴史博物館こころピア
- ⑳ 熊本県立装飾古墳館
- ㉑ 山鹿市立博物館
- ㉒ わいふ一番館
- ㉓ 阿蘇火山博物館
- ㉔ 北里柴三郎記念館
- ㉕ 坂本善三美術館

## [県 南]

- ㉖ 松井文庫驥斎
- ㉗ 八草市立博物館 未来の森ミュージアム
- ㉘ 人吉城歴史館
- ㉙ 水俣病歴史考証館
- ㉚ 天草市立天草キリシタン館
- ㉛ 天草市立本渡歴史民俗資料館
- ㉜ 天草四郎ミュージアム
- ㉝ 芦北町立星野富弘美術館
- ㉞ つなぎ美術館
- ㉟ 古代の風・黒の蔵(多良木町埋蔵文化財等センター)
- ㊱ 湯前まんが美術館
- ㊲ 岩野公民館
- ㊳ 山江村歴史民俗資料館

## 発行／熊本県博物館ネットワークセンター

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1695  
 TEL : 0964-34-3301  
 FAX : 0964-34-3302

○ 記載事項は2019年9月時点で各館から提供された情報に基づいています。  
 ○ 休館日は、掲載されたもの以外に、年末年始や展示替え期間などの休館があります。  
 ○ 料金は、企画展、特別展が別料金の場合があります。  
 ○ その他、詳しくは各館のホームページ等をご参照ください。